

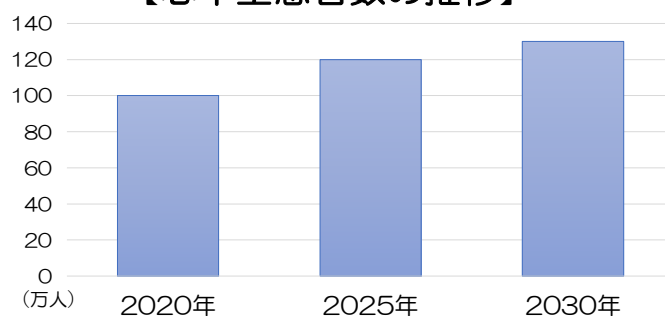
慢性心不全看護認定看護師の 役割と活動



慢性心不全看護認定看護師
外来1・2階 井上 直美

慢性心不全看護認定看護師の役割

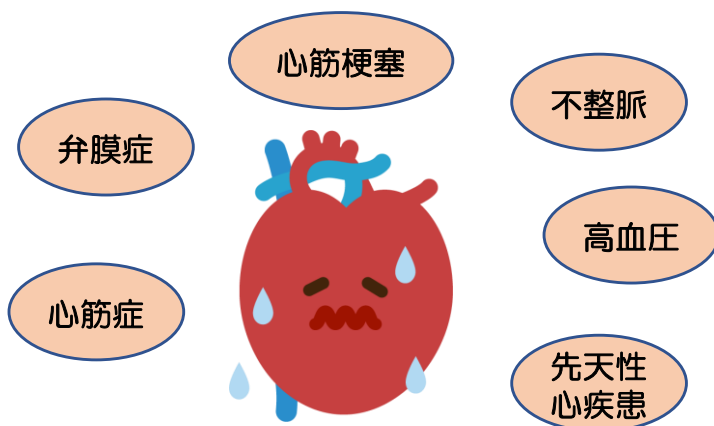
【心不全患者数の推移】



- 高齢化と共に今後、ますます心不全患者が増加します
- 心不全患者さんの病気に応じた、生活の調整や心不全を悪化させる原因を評価したり、症状のモニタリングを行いながら療養生活を支える役割があります
- 医師、薬剤師、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカー等と協働して心不全のコントロール支援を行います

心不全とは

心不全とは、あらゆる心臓病の最終段階です。
心臓が悪いために、息切れやむくみが起こります。
時間経過とともに、だんだん症状が強くなり、生命を縮めてしまう病気です。



心不全の症状は？

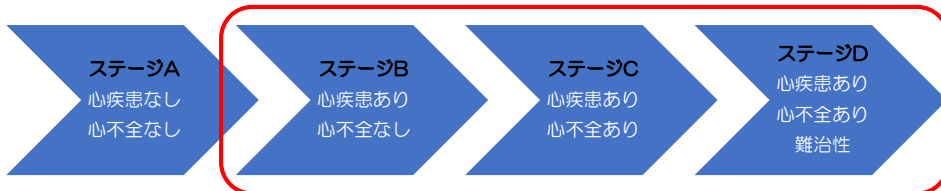
心不全は、症状を抑えることができても
完全に治すことができる病気ではありません。
うまく心不全を管理していく必要があります。





心不全の経過と当院の現状

心不全はステージA⇒ステージDへと進行していきます
ステージBからDの患者さんが入院加療されています



- ◆ 2022年度に心不全で入院された患者延数は約900人です
- ◆ 循環器内科病棟だけでなく、他の病棟にも心臓カテーテル検査や治療、心不全の検査・治療の患者さんが入院されています



循環器内科病棟以外の看護師も循環器患者さんのケアに役立ててもらえるように2020年から勉強会を開催しています



循環器内科病棟看護師と連携

心不全増悪による再入院の原因

- 塩分、水分制限の不徹底
- 治療薬服用の不徹底
- 過労
- 精神的、心理的ストレス

入院中は病棟看護師が患者さんへ生活指導・退院指導を行います

退院後は外来看護師が患者さんへ生活の様子を聞き心不全の増悪がないか確認します

